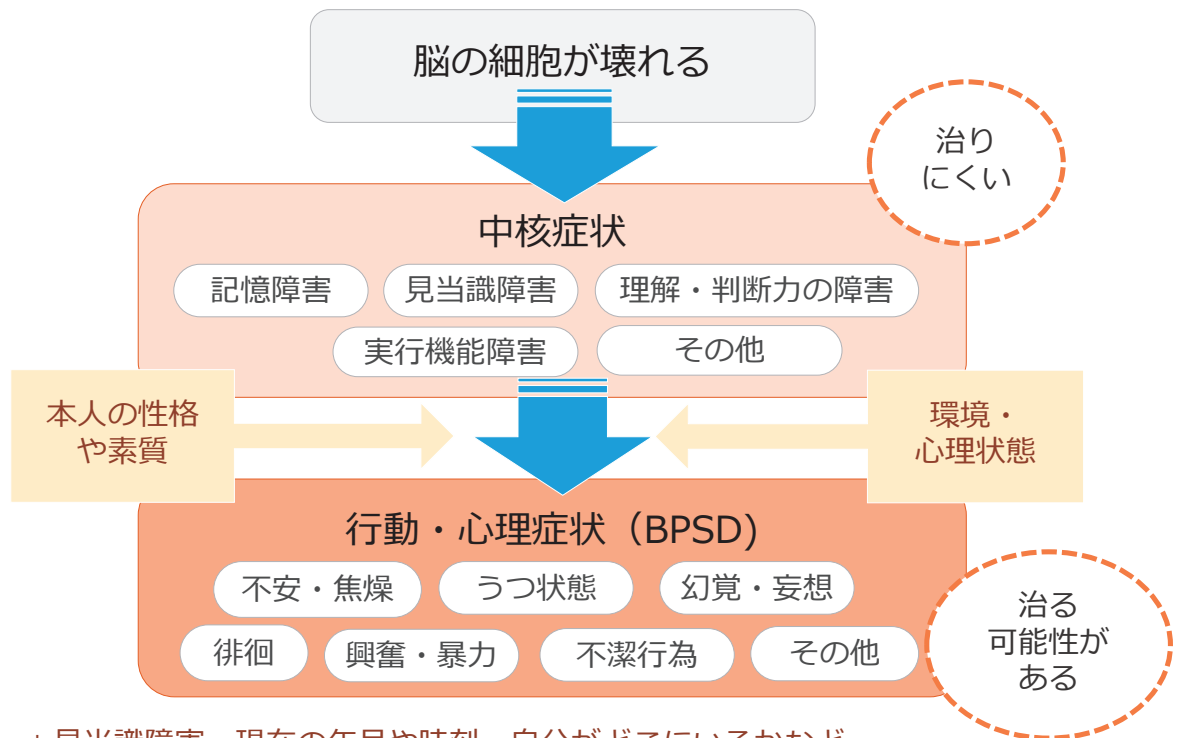




認知症の症状

脳の細胞が壊れることによって直接起こる症状を「中核症状」といい、これに対して、本人の性格、環境、人間関係などの要因がからみあって起こる症状を「行動・心理症状」といいます。

中核症状は治りにくいといわれるのに対し、行動・心理症状は治る可能性があるといわれています。



* 見当識障害…現在の年月や時刻、自分がどこにいるかなど、基本的な状況を把握できなくなること

* 実行機能障害…計画を立てたり、按配したりすることができなくなること

出典：キャラバン・メイト養成テキスト



認知症は誰にも起こりうる身近なもの

認知症は誰でもなる可能性があり、「自分自身の問題でもある」という認識を持つことが大切です。

認知症について正しい理解を深めて、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けるにはどうしたら良いか、一緒に考えてみませんか。